

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 10 月 14 日 (2021.10.14)

【公開番号】特開 2020-660 (P2020-660A)
 【公開日】令和 2 年 1 月 9 日 (2020.1.9)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-001
 【出願番号】特願 2018-124813 (P2018-124813)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

【手続補正書】
 【提出日】令和 3 年 9 月 2 日 (2021.9.2)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

所定条件が成立したことに伴い、遊技者に有益となる特別遊技の抽選を行う遊技制御手段を備える遊技機であって、

前記遊技制御手段は、

遊技に関連する情報を記憶可能な第 1 の記憶領域と、前記第 1 の記憶領域とは異なる第 2 の記憶領域とを少なくとも有する記憶手段を有し、

停電を検出すると停電処理を実行し、前記停電処理が実行されたこと示す停電実行情報を前記記憶手段の前記第 1 の記憶領域及び前記第 2 の記憶領域のそれぞれに対して設定することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記遊技制御手段は、

前記特別遊技の抽選が可能な処理の実行中は、前記第 2 の記憶領域へアクセスせず、前記第 1 の記憶領域にアクセスし、

前記特別遊技の抽選が行われない処理の実行中は、前記第 1 の記憶領域へアクセスせず、前記第 2 の記憶領域にアクセスし、

前記第 1 の記憶領域に記録される停電実行情報は、前記第 1 の記憶領域における停電処理において記録され、

前記第 2 の記憶領域に記録される停電実行情報は、前記第 2 の記憶領域における停電処理において記録されることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記遊技制御手段は、

前記停電処理において、前記第 1 の記憶領域に記憶された内容の少なくとも一部を用いて第 1 のチェックデータを算出する第 1 のチェックデータ算出処理と、前記第 2 の記憶領域に記憶された内容の少なくとも一部を用いて第 2 のチェックデータを算出する第 2 のチェックデータ算出処理とをそれぞれ実行し、

前記第 1 のチェックデータの算出に伴って、前記停電実行情報を前記第 1 の記憶領域の第 1 の所定領域に設定し、

前記第 2 のチェックデータの算出に伴って、前記停電実行情報を前記第 2 の記憶領域の第 2 の所定領域に設定し、

前記第 1 の所定領域及び前記第 2 の所定領域は、前記第 1 のチェックデータ算出処理において使用されず、かつ、前記第 2 のチェックデータ算出処理において使用されないことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明は、所定条件が成立したことに伴い、遊技者に有益となる特別遊技の抽選を行う遊技制御手段を備える遊技機であって、前記遊技制御手段は、遊技に関連する情報を記憶可能な第 1 の記憶領域と、前記第 1 の記憶領域とは異なる第 2 の記憶領域とを少なくとも有する記憶手段を有し、停電を検出すると停電処理を実行し、前記停電処理が実行されたこと示す停電実行情報を前記記憶手段の前記第 1 の記憶領域及び前記第 2 の記憶領域のそれぞれに対して設定することを特徴とする（例えば、段落 1 1 5 4 ~ 段落 2 2 8 2、図 1 2 9 ~ 図 2 3 2 などを参照）。